

まちの話題

直方市合同企業説明会を開催

市内企業による域内高校生を主な対象とした合同企業説明会を3月13日にユニティのおがたで開催しました。説明会には、市内企業20社が参加し、高校生を中心とした多くの人に個別ブースにて自社の事業内容や魅力等を説明しました。

参加した高校生は、多くの企業のブースをまわり、企業の説明に熱心に耳を傾けていました。参加した高校生からは、「興味のある仕事の内容が詳しく聞けてよかった」「身近にすごい企業があることを知れた」などといった声が聞かれました。

市ではこれからも、企業の魅力を発信し、就職促進に繋げていくための場を設けることで、多くの

若者が地場産業で活躍できる機会を創出していきます。



空手選手権で準優勝



新極真会所属の岐部月姫さん（7歳）が、3月5日に東京都で開催された「第2回全日本青少年フルコンタクト空手道選手権大会」に出場したことを報告に、3月23日市長を表敬訪問しました。

小学1年生女子軽量級部門に出場し見事準優勝を収め、将来の夢は「世界チャンピオンになり、空手の先生になること」と話す岐部さん。

市長は「将来が楽しみ。直方を代表する選手になってください」とエールを送りました。

市庁舎8階に展望スペースを設置

市庁舎8階東側廊下にカウナーターブルを設置し、雄大な福智山と遠賀川の河川敷が望める展望スペースとして開放しています。

16席あるハイカウナーター

ブルには電源コンセントを用意。無料WiFiを完備しており、ビジネススペースとしても活用できます。また、座席の低いカフェテーブル席も6席ありますので、ゆっくりとお茶をしながら四季折々の季節の移り変わりを楽しむことができます。



憩いの場として、リフレッシュしながら仕事をするスペースとして、ぜひご利用ください。

ギラヴァンツから子ども食堂へアイガモ米が寄贈

新入グアア市場と新入小学校5年生、ギラヴァンツ北九州が田植えから収穫までを行った「アイガモ米」が、市内の子ども食堂へ寄贈されました。

寄贈されたのは収穫されたアイガモ米5kg。ギラヴァンツからオリジナルタオルとユニフォーム型チケットフォルダー20セットも寄贈され、子ども食堂に来る子ども

もたちに配られました。

寄贈を受けた画廊カンヴァスの池田曉美さんは「貴重なお米をいただけて本当に嬉しい」と喜び、ギラヴァンツの玉井行人会長は「スポーツと文化、カレーで子どもたちの交流になれば」と話しました。

画廊カンヴァスでは毎月第4日曜日に正午から子ども食堂を開催しています。4月からは限定



40食でカレーを弁当方式で提供し、今後50食まで増やしていく予定で

市内高校生が選挙啓発

3月29日、鞍手高校・直方高校・筑豊高校の3校の書道部員10人が、市内に配置される福岡県議会議員選挙、直方市長・市議会議員選挙の看板の文字を揮毫しました。

法改正により選挙権年齢が18歳に引き下げられたことで、若者に政治や選挙に関心を持ってもらおうと、市選挙管理委員会が



市のホームページでは、
この他の話題も公開しています。



らの声掛けで行われました。
選挙看板は「直方市開票所、選挙会場」や「第1投票所」等、県議選と市長・市議選の42枚を作成。横60×80センチメートル、縦160センチメートルの模造紙に、楷書体、行書体、隷書体で書かれた書は、各投票所などに配置されました。また、今回の市長・市議選では、鞍手高校・直方高校の美術部に選挙啓発ポスターを作成していただきました。
看板作成に参加した中願寺綾さんは「選挙はあまり身近なものと思っていなかったが、成人になって選挙権があるので投票に行きたい。看板作成に携われて良かった」と話しました。



演技したと頑張ったことを話しました。3名の選手は「次の大会でも優勝したい」と笑顔で目標を語りました。

この競技は2台のトランポリンで2人同時に演技し、演技の美しさ、着地した場所等が審査され、2人の息の合った演技が見どころです。
本大会で別団体に所属する選手と演技した酒見さんは「2人そろって練習したのは3回。大会では相手の高さに合わせながら演技した」と頑張ったことを話しました。3名の選手は「次の大会でも優勝したい」と笑顔で目標を語りました。

3月30日、トランポリンスクールエアフットに所属する大田原さらさん(12歳)、有馬百華さん(11歳)、酒見昌徳さん(8歳)が、第2回全九州トランポリン競技シンクロ選手権大会で優勝したことを報告に、市長を表敬訪問しました。

トランポリン競技 シンクロ選手権大会 で優勝



4月5～7日、市内で観光PR動画の撮影が行われました。市内外へ本市の魅力発信するため市民参加型の動画で、直方に旅行に来た女性が直方のさまざまなか地で市民からのおもてなしに触れ、歴史や文化の魅力を発見していくストーリーです。花公園やチューリップフェア会場では季節の花に触れ、商店街では人力車に乗り炭坑節を体験。歳時館では生け花やお茶の体験を行うなど、直方ならではの魅力に笑顔が溢れました。そのほか名物の成金饅頭や焼きスパなどのグルメも盛り込み、1分30秒ほどで直方の



魅力を感じます。
映像には、サウンドデザイナーでもある監督の清川さんオリジナルの、直方で見られる花を歌詞にした音楽が合わせられました。
撮影に参加した市民プロダクションメンバーの橋本さんは「計画からかわつてきて、清川さんからの外の視点は刺激になった。改めて魅力を発見できて嬉しい。この魅力をぜひ広めたい」と声を弾ませました。

直方の魅力再発見 PR動画を撮影